

令和7年度 長野県坂城高等学校 学校評価

Ⅰ 学校目標

自らライフキャリアをデザインし、地域社会に主体的に関わり貢献できる人の育成

Ⅱ 生徒育成方針

- 1 自他の大切さを認め、チームで活動できる
- 2 地域の良さを知り、情報発信できる
- 3 社会の一員として、自覚を持って行動できる
- 4 時代の変化に応じて、キャリアデザインできる

Ⅲ 重点目標

- 1 学ぶ楽しさを実感し、学びを深め広げながら主体的に進路選択でき進路実現できる生徒を育む。
- 2 他者を理解し自他の大切さを認め支え合いながら人権感覚を育み、いじめや暴力を許さない学校づくりを推進する。
- 3 保護者や地域に校内の教育活動を適時情報発信し連携を深めながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。

Ⅳ 評価について

以下の観点にもとづき、評価する。評価は、生徒・保護者へのアンケートや生徒ループリック評価、アセスの結果等を用いて行う。

重点目標	評価項目	評価の観点
1	学習指導	生徒が、学ぶことについて、その楽しさをさらに感じられるようになったか
		生徒一人ひとりが、わからないこと、うまくできないことがあったとき、自ら新たな技能や知識を身につけようとする姿勢をもてるようになったか
	進路指導	生徒が、その希望する進路実現に必要な学力を身につけたか
		生徒一人ひとりが、自分の将来を想像し、その実現に向けて必要な行動を定め実行できるようになったか
2	自己理解と他者理解	生徒一人ひとり自己理解が深まり、自分の考え方や行動の判断基準（価値観）をもてるようになったか
		生徒が、自分と他人の価値観の違いを理解し、ともに成長できる関係を築けるようになったか
	協働した学びと発信	生徒が、他者と協力して学び合ったり、作業したり、課題解決にむけて協働して活動できるようになったか
		生徒が、自分の考えやグループでまとめたこと等を聞く相手に伝えられるようになったか
3	開かれた学校	生徒、保護者にとって、学校は安心して学び活動できる場所であったか
		生徒、地域や保護者の学校への期待（需要）を共有し、教育活動を展開することができたか